

子宮頸がんなど3ワクチンについて

先頃開催された沼田市議会民生福祉委員協議会において、市健康課長から「子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンについて、政府から提案されている『2010年度補正予算』の中に、この3ワクチン接種についての国の助成金が提案されており、国が実施すれば市もそれに合わせて実施するかどうかを検討したい」旨の発言がありました。

井之川博幸委員は、「利根沼田地域の中でも、個別ではあるがすでに実施しているか、実施の方向を決めている自治体が出ている、県内12市の中でも同様であるので、沼田市としても実施することは当然ではないか」と要求しました。健康課長からは、出来るだけ実施の方向で検討したい旨の発言がありました。

厚労省補正に3ワクチン分1085億円

厚労省は、現在開催されている臨時国会に提出されている2010年度政府補正予算に、3ワクチン接種を実施する自治体に費用の半分を助成するために必要な予算1,085億円を盛り込んでいます。

この10月に、利根沼田社会保障協議会などが利根沼田の各自治体・議会に、「住民がこれらのワクチンを接種する場合に助成を求める」要望書を提出するなど、ワクチン接種への助成を求める要望が、全国的にも高まっており、日本共産党をはじめいくつかの党が議会で要求するなどしてきました。

3ワクチンとは？



①子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは、13歳の女兒に3回接種し、16歳まで受けられます。②乳幼児の細菌性髄膜炎の原因となるインフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）と③小児用肺炎球菌ワクチンは、0歳時に3回受け1歳時に1回受けるのが原則で、受けていない乳児は2～4歳時に1回受ける。

昭和村議選が告示

日本共産党 林幸司候補当選へ全力



立候補の決意を語る林幸司候補

23日、昭和村村会議員選挙（定数12）が告示され、日本共産党の林幸司候補（現6期）はじめ13人が立候補し、少数激戦の選挙となりました。

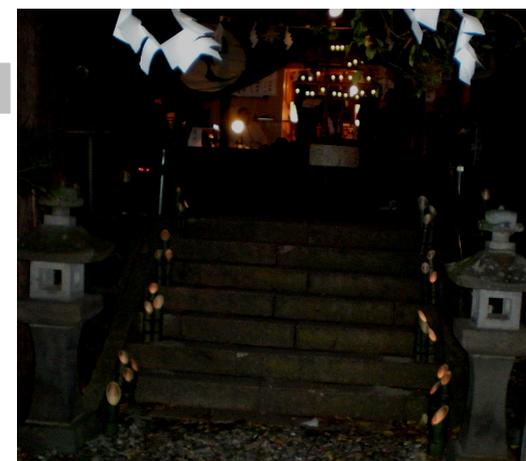
林幸司候補は、中学生までの医療費の無料化や望郷ライン信号機の設置、消防施設整備、デコボコ村道の改修、福祉施策の充実など村民の願いを実現してきた実績と、沼田市の5倍高い「指定ゴミ袋」と周辺町村より高い「国民健康保険税」の引き下げをなんとかして実現するために、議会に送り出してほしいと全力で訴えています。昭和村にお知り合いのある方は、ぜひご協力下さい。

伝統のまつりに幻想的な灯りがゆれる

原田神明宮例大祭

23日夕から24日昼にかけて毎年恒例の原田神明宮例大祭が開催されました。

今から491年前に建立された伝統ある原田神明宮のお祭りは、「大焚き火」を燃やす火祭りや、参拝者におみごく（餅）を分け与えるなど伝統的な内容ですが、今年は、参道などに幻想的な「竹灯籠」の灯りが揺れていました。



参道階段両側の竹灯籠

2010年11月28日 No.541

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料